

点検結果報告書（仮称：平成20年度実績版）の作成の基本的考え方

1 点検結果報告書（平成21年3月）の経緯・趣旨

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」）は、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（以下「5か年計画」）に位置付けられている12の特別対策事業について、実施状況を点検・評価し、その結果を県民に分かりやすく情報提供する役割を担っている。

そこで、第1期の県民会議委員（任期：平成19～20年度）は、平成21年3月に当該期間を総括する趣旨で、平成19年度の事業実績を中心に点検結果報告書（以下「前回報告書」）を作成した。今後の点検・評価については、20年度以降の事業についても、県民会議は点検する用意があったとした。

2 今回の点検結果報告書（仮称：平成20年度実績版）の方針

前回の点検結果報告書は、4つの視点（①事業進捗状況から見た評価、②モニタリング調査結果に基づく評価、③事業モニター意見、④県民フォーラム意見）から、平成19年度の事業実績を中心に、多面的な点検を行ったが、今回の点検結果報告書は、前回と異なり、第2期の県民会議委員の任期（平成21～23年度）の途中であるため、次の点に基づき、20年度の事業実績の更新を中心に、中間の報告書を作成するものである。

（1）平成20年度の事業実施状況等の記載

平成20年度の事業実施状況、進捗状況、予算執行状況を記載するとともに、事業進捗状況から見た評価を行う。

（2）平成20年度のモニタリング調査等の記載

平成20年度のモニタリング調査実施状況を記載するとともに、モニタリング調査結果に基づく評価を行う。

（3）事業モニター結果の削除

第2期県民会議による事業モニターは、平成21年度後半に特別対策事業（直接的な効果が見込まれる9事業）を対象に実施するため、今回報告書には掲載しない。

（4）県民フォーラムの削除

第2期県民会議による県民フォーラムは、平成21年度後半に2地域（横浜・川崎地域、湘南地域）を対象に実施するため、今回報告書には掲載しない。

（5）総括

前回報告書は、①事業進捗状況から見た評価、②モニタリング調査結果に基づく評価、③事業モニター意見、④県民フォーラム意見の4つの視点の評価に基づき、総括コメントを作成したが、今回報告書は平成20年度の事業実績・進捗を中心に、点検・報告する。